

# こども医療センター北4階へ ようこそ♪



より質の高い医療の提供を目指して 2021年1月 こども医療センターが開設しました！

## 廊下



壁に描かれたかわいい動物たちは京都芸術大学の学生のみ  
なさんによってデザイン、ペイントされたものです！



# プレイルーム



おもちゃが沢山あります！  
本やDVDの貸し出しもしています



ボーネルンドとコラボしたプレイルームです



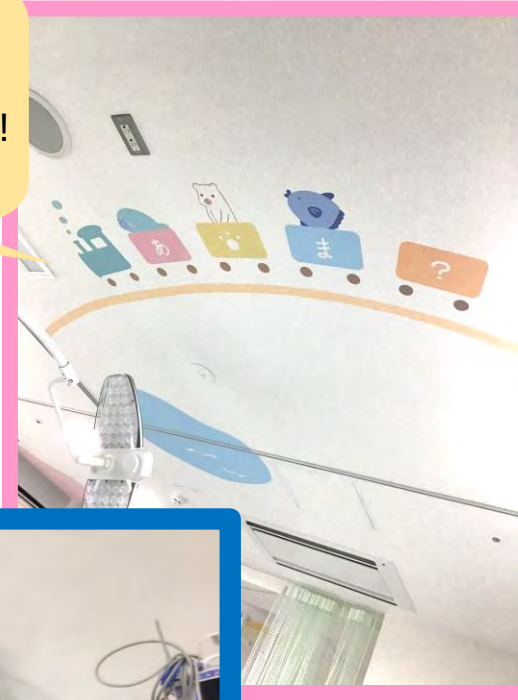
# 処置室



エコーや、採血をするところです！



壁や天井には、  
子どもたちの怖い  
気持ちがまぎれるような仕掛けが！



先生にエコーを使って  
お腹の中をチェックし  
てもらいます



## こども医療センターの概要



子ども医療センターでは、子供達が、入院・治療を受けながらも、子どもらしく生活でき、可能な限り遊びや学習を通して、成長・発達できるように、また社会性を身に着けることができるように、多職種で支援しています。





<病床数>

30床（小児外科10床・形成外科（小児）8床・心臓血管外科（小児）2床 共通10床）

<診療科>

小児外科、心臓血管外科、形成外科（呼吸器外科）

<医療スタッフ> 医師・看護師・薬剤師・栄養師  
リハビリスタッフ  
（理学・作業・言語）  
保育士・CLS・看護助手

皆で協力しています♪





# こども医療センターで診る疾患



## ・小児外科

胆道閉鎖症、肝不全（生体肝移植・脳死肝移植）

鼠径ヘルニア、ヒルシュスプリング病、鎖肛などの小児外科疾患（手術治療）

## ・呼吸器外科

肺高血圧症、特発性間質性肺炎、骨髄移植後の閉塞性肺障害における肺移植（生体肺移植・脳死肺移植）

## ・心臓血管外科

心疾患：ファロー四徴症・心房中隔欠損症など（手術治療）

## ・形成外科

口唇口蓋裂、小耳症、多合指症、母斑など（手術治療）





# ☀️ 看護の実際 ☀️





# <心臓カテーテル検査の実際>

看護師と一緒に  
検査室へ向かいます



検査室の看護師さんと  
バトンタッチ！  
よろしくお願いします



検査を終えて  
病棟に帰室

カテーテルを刺したところ  
から出血しないようにシーネ  
で固定して安静にします



小児用の小さな心電図モニターのシールです  
心臓に疾患を持った患者さんの異常を早く  
みつけれられるようにつけています

※画像の使用は全て患者さん御家族の許可を頂いています



# <小児外科看護の様子>

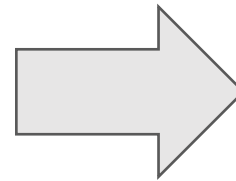
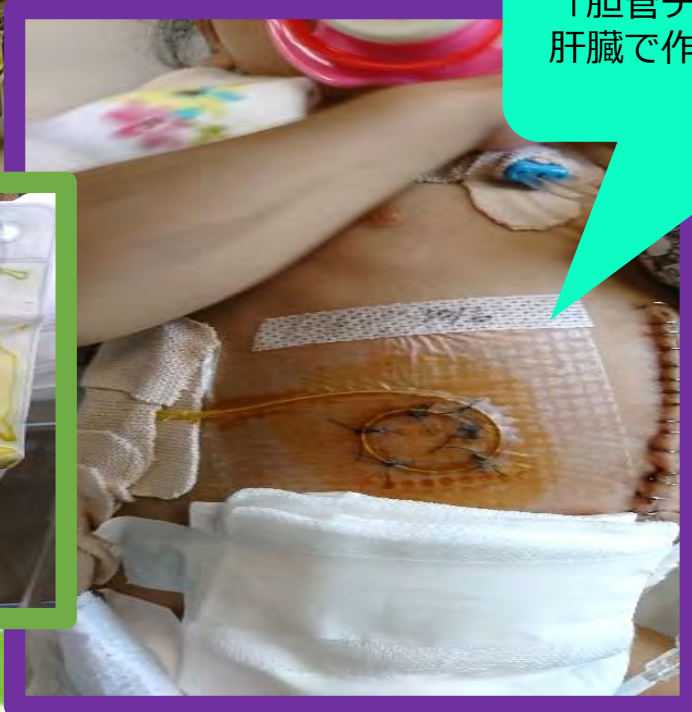
移植コーディネーター



入院前から退院した後も、  
患者さんやご家族の生活を含め  
たフォローをしてくださります  
～何か困っていることはないですか？～

肝臓移植のあとは、  
「胆管チューブ」をお腹にいれます  
肝臓で作られる、胆汁の量や性状を  
チェックします

胆管チューブがあっても  
ガーゼと防水テープで保護し  
てお風呂に行けるんだね♪



※画像の使用は全て患者さん御家族の許可を頂いています



## <形成外科の看護>



巨大色素性母斑（ほくろ）に対して皮膚移植をした患者さん。テープや包帯で保護をしています。処置中はみんなががんばるように工夫したり、医師の介助をします。



多指症などの手術後は手術部位の保護のためギプス固定をします。毎日指先の状態を観察します。



患者さんに合った保護剤を使っています。



## <呼吸器外科の看護>

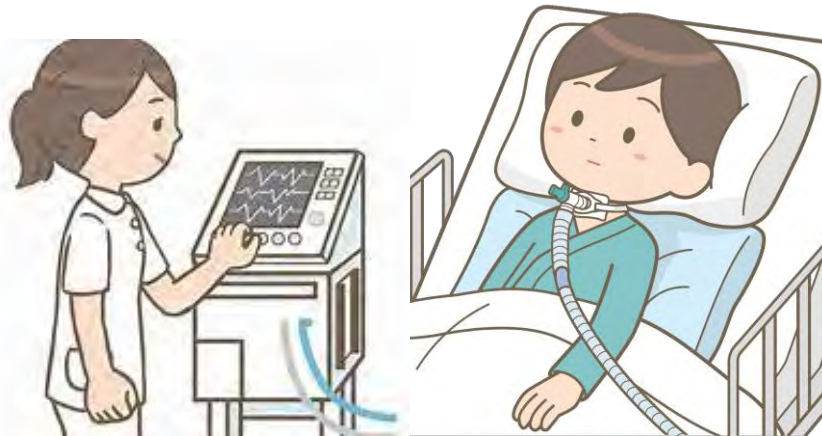
生体肺移植

2人のドナーの肺



1人の患者に一部ずつ移植

呼吸がしんどくなる病気の患者さんにはお父さんやお母さんなどがドナーとなり肺移植をします。手術後は呼吸器などを使用し、呼吸を補助することもあるので呼吸器の管理や呼吸状態の観察をします。



<作業療法中の様子>

手術をすると体力が落ちてしまうため手先を使う工作など、遊びを通したりハビリをすることもあります！



# ボランティア

コロナウイルス蔓延前までは  
ボランティア団体の“にこにこトマト”さんが  
様々な行事や企画を用意してくれていま  
した！  
現在は活動を自粛されていますが、病棟に工  
作キットを届けてくださいます！



みんなとっても  
楽しみにしています♪





# 保育士の活動

子供の成長には遊びは  
必要不可欠！  
子どもたちの発達段階や  
個性に合わせた遊びやコ  
ミュニケーションを  
とっています。



イースターや七夕のイベントを楽しみました☆

子どもたちが保育士さん  
と遊んでいる間  
お母さん達の休憩時間  
を作っています！



※画像の使用は全て患者さん御家族の許可をいただいています





# CLS (チャイルドライフスペシャリスト) の活動



CLSは子どもと家族の心のサポートをしています。個々に応じた手術や検査・処置（採血など）の説明の実施。遊びを通して子ども達の心の準備や自信につながる介入をしています。



人形や模型など様々な工夫をしています



# 若手職員紹介

- 田島 花子さん
- 入職2年目 こども医療センター北4階所属
- 主な仕事内容

北病棟4階では小児外科、心臓血管外科、形成外科、呼吸器外科など、診療科の垣根を超えて手術を必要とする幅広い年齢の子ども達が入院しています。対象となる疾患は多岐に及ぶため、個々の疾患や治療に合わせた看護を行っています。



ラウンド中



バイタルサイン測定グッズ



プレパレーション中

## ●●さんのある1日 ※簡潔に記載

- 7:45 ● 出勤、情報収集
- 10:00 ● 病棟業務（保清、点滴作成など）
- 12:30 ● 休憩
- 13:30 ● カンファレンス 病棟業務（点滴作成、処置介助など）
- 16:45 ● 退勤
- 18:00 ● お買い物をしつつ帰宅、炊事
- 20:00 ● 家事、明日の仕事のための勉強
- 23:00 ● 就寝

## 仕事をするうえで大切にしていること

新生児から高校生くらいまでの幅広い年齢の子ども達が対象のため、発達段階や特性を考えながら、子どもの頑張る力を引き出す関わりを心がけています。

また子供たちは成長発達段階の途中のためご家族のサポートは欠かせません。そのため、ご家族を含めた看護を大切にしています。

## メッセージ ※就職希望者への

わたしたちの病棟では、様々な成長発達段階の子どもが入院します。また複数の外科診療科の治療が行われるため、子どもがもつ疾患の背景も様々です。その子にあった関わり方や声のかけ方などを考える難しさがありますが、手術を乗り越え、元気になっていく子どもたちを、病棟スタッフ全員で支えていくことには、楽しさとおおきなやりがいを感じています。

皆さんと一緒に、子どもたちへの看護ができることを心待ちにしています。